

悪政から市民まもる防波堤 日本共産党3議席で くらし第一の市政に



石田 秀三
(62才)

森川 やすえ
(64才)

はしづめ 圭一
(63才)

【略歴】1953年生まれ、62歳。静岡大学卒、鈴鹿市役所に11年勤務、86年に退職。87年初当選、現在7期目。28年間、毎議会質問に立ち、4代の市長と論戦。伊船町に在住、家族は妻、母、2男1女(別居)。趣味は山歩き、読書など。1反の田で米を作る。

【略歴】1950年生まれ、64歳。沖縄県生まれ、上京し日本大学通信教育卒。結婚して鈴鹿に住み、33年。95年初当選、現在5期目。毎月欠かさず議会報告(女性は大太陽)を発行、配布し続ける。矢橋3丁目に住居、家族は夫、3男別居。趣味はお菓子作り、読書など。

【略歴】1951年、大阪府阪南市生まれ。大阪府立今宮工業高等学校卒業。本田技研鈴鹿製作所に42年勤務、60才で退職。年金者組合、九条の会、鈴鹿ユニオン、反原発、秘密保護法反対などの市民運動に参加。岸岡町に住居、家族は妻、2男別居。趣味はバイク、山歩きなど。

地方のくらしも街もこわす 安倍内閣の暴走ストロップ!!

すずか民報

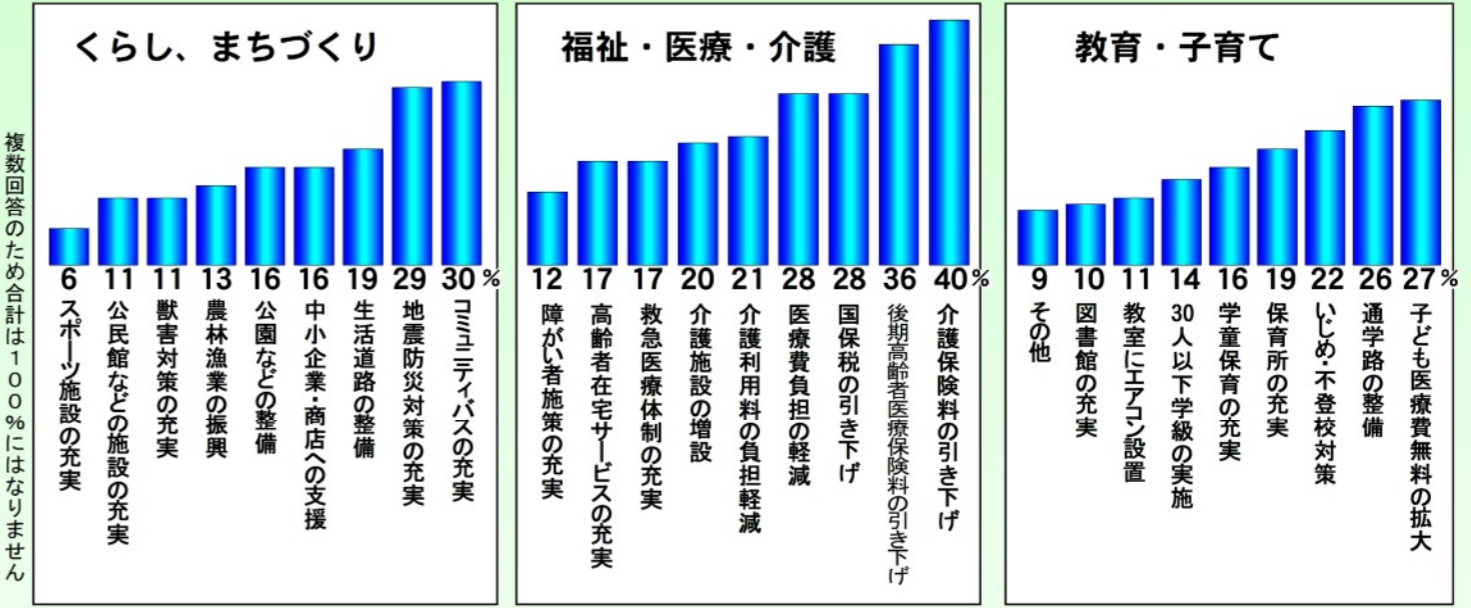
第140号
2015年2月
発行責任者 辻井良和
Tel. 386-0529

日本共産党鈴鹿市委員会
本年4月に予定されている鈴鹿市議選に向けて、予定候補者と選挙政策を発表しましたので、お知らせします。

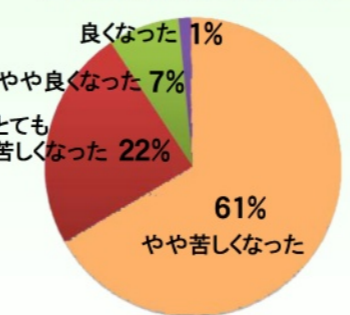
「市民アンケート」へのご協力ありがとうございました

日本共産党鈴鹿市議団のアンケートへの回答281通のまとめ

鈴鹿市政に何を望みますか?



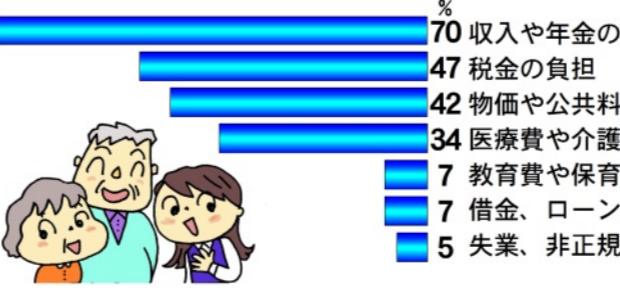
最近の暮らし向きは



○高校・大学などの教育費は家計には大きな負担です。親の収入によって子どもが進学できないという現実は一昔前のことではなく、平成の今もまた存在しているのですよね。(女、50代)
○男性の育児休暇を充実させて欲しい。子どもの都合で有休をとってもらったりするが、イヤミを言われたり、給料とか評価にも影響する。…男性にも育児をしてもらうことで女性の大変さも分かんと思う。(女、30代)
○子どもの医療費窓口支払は0円にしてほしい。他県に比べ遅れていると思う。(男、30代)
○保育所の職員数を確保して欲しい。定数(1人の保育士に対する園児)をもう少し少なくし、十分な保育を望む。(女、30代)

○コミュニティバスの回数を増やして欲しい。1時間に1回では困ります。病院とか商店に行くのに行くところ全部に停まるようにしてほしい。便利が悪いので困ります。(女、60代)
○車の交通は便利になっているが、自転車の通る道は何も配慮されていなく、いつ事故が起こるか…心配される。(女、70代)

暮らしのお困りごとは何ですか?



市議会や議員について、何を望みますか?

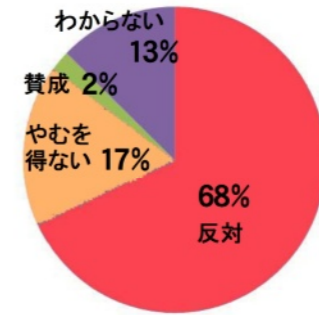


○賃金は変わらないが、仕事量は多い。物価が少し高くなったのが気になる。(男、30代)
○福島のような事は有ってはならないと思います。子どもの病気が増えることは、有ってはならないです(甲状腺ガン等)。(女、20代)

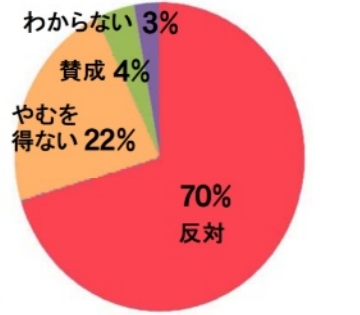
市政・生活相談地域 (小学校区別)

<p>石田 秀三 深伊沢、椿、庄内、鈴西、加佐登、石薬師、庄野、井田川、国府、合川、天名、郡山、栄 (除く磯山)</p> <p>伊船町2751 電話 371-0423 FAX 371-2469</p>	<p>森川 やすえ 神戸、河曲、一の宮、長太、箕田、若松、桜島、玉垣 (除く岸岡)</p> <p>矢橋3丁目10-34 電話 384-3740 FAX 384-2907</p>	<p>はしづめ 圭一 愛宕、白子、旭が丘、稲生、飯野、明生、清和、牧田、鼓ヶ浦 (プラス岸岡、磯山)</p> <p>岸岡町2874-1 電話 386-8561 FAX 386-8561</p>
---	---	---

原発の再稼働についてあなたは?



消費税10%への増税についてあなたは?



市民の皆さんとともに がんばります。

日本共産党は、「国民の苦難の軽減」を立憲精神とし、国政・地方政治を通じて皆さんの声を聞きながら活動しています。昨年末の衆議院選挙と前年の参議院選挙では大きな支持をいただいた。国会議員は2.5倍、32人に躍進しました。さっそく自民党・安倍内閣の暴走政治に正面から対決してがんばっています。

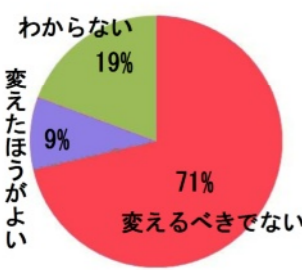
次は4月のいっせい地方選挙です。鈴鹿市議選では、16年ぶりの3議席をめざします。こんどの選挙でもぜひ日本共産党を伸ばしていただき、市民の皆さんのお役に立てるように、さらなるご支持をよろしくお願い致します。

憲法9条まもろう

「集団的自衛権」ノー! 秘密保護法は廃止

今年は戦後70年、平和憲法とともに歩んできた私たちの国・日本を、ふたたび「戦争できる国」にし、若者を戦場に送る国にしてはなりません。戦前のような自由のない、もの言えない時代はごめんです。「9条まもれ」の声を、鈴鹿の街中に広げましょう。

憲法9条の改定について、あなたは?



日本共産党鈴鹿市議団のアンケート調査結果より

消費税10%増税は キツパリ中止

大企業・金持ち優遇やめ、 応分の負担を

8%への増税で、市民の暮らしはさらに苦しくなり、地方の景気はどん底に。格差拡大、TPP推進、中小企業や農業をこわす「アベノミクス」で、地方はますます衰退しています。大企業応援から、くらし第一へ経済政策を転換させましょう。

原発ゼロの日本を

再稼働反対、 自然エネルギーへの転換で

福島第一原発の事故がまだ収束もしていないのに、全国の原発の再稼働を進めるなど言語道断です。太陽光などの自然エネルギーへの大転換をすすめ、未来の世代に安心・安全な大地を残しましょう。原発のない日本実現のために、力を合わせましょう。

福祉・くらしの 切り捨て許さない

年金引き下げ、 医療・介護の改悪やめて

払えないほど高い国保税。軽度の人を対象にし、従事者の報酬を下げる介護保険。最低基準の生活保護まで引き下げ。国が出すべき予算をけずり、責任を地方に押しつけて高齢者・弱者をいじめる姿は、異常です。政治を変えて、西欧諸国のように、負担が少なく充実した福祉制度にしようではありませんか。

パワーアップして市民のくらし守ります

中学校給食もうすぐスタート

28年前から「中学校給食の実現」を公約にしてきた党市議団。議会でも何度も実現を求めてきましたが、県内で給食を行っている市がなかったこともあり、なかなか前進しませんでした。しかし「中学校給食を実現する会」の皆さんとともに、請願署名運動や先進地への見学などを粘り強く進めてきました。

そして08年、市教委が「検討委員会」を設置、10年「完全給食実施」の答申が出され、11年就任した末松市長が給食センター建設を具体化。いよいよ本年5月から全中学校でいっせいに給食がスタートします。



完成間近な中学校給食センター（相生4丁目）

提案 調理業務を民間委託ではなく、小学校と同じ市直営に変えます。

子ども医療費無料化、年齢引き上げ

「就学前までだった子ども医療費助成制度の対象を、12年4月から「小学校卒業まで」に、また入院のみ「中学校卒業まで」に引き上げました。その後12年9月からは三重県が「小学校卒業まで」引き上げました。

提案 通院も「中学校卒業まで」に広げ、すべて「窓口無料」にします。

国保税の値上げ案を撤回させる

14年12月、翌15年度の国保会計の収支で6億円余の赤字が見込まれるとして、平均15%の国保税引き上げが提案されましたが、市議団は一般会計からの繰り入れによって、引き上げを抑えることを求めました。これを受けて12月末に、値上げ案は撤回されました。

提案 一般会計からの支援で、1人当たり1万円引き下げます。

子どもたちが楽しく学べる学校へ

県下の各市で、普通教室へのエアコン設置が進んでいますが、鈴鹿市はまだ手つかずのまま。また、古い校舎のトイレ改修なども遅れ、臭いがひどくて子供たちが息を止めて入っています。「予算がない」と言っている場合ではありません。

提案 学校予算ふやし、教室にエアコン設置、トイレ改修をすすめます。

文科省の「全国学力テスト」に加えて、三重県が始めたテスト「スタディエッセ」で、子どもたちは順位競争に追われ、先生はクタクタ。それよりいま必要なのは、子どもたちに目が行き届く少人数学級です。先生を増やして、ゆとりある学校にします。

提案 テストで競争あおるより、30人学級で子どもも先生もゆとり勉強できる学校にします。

住宅リフォーム助成4500万円

建設業者の「仕事起こし」対策として、住宅リフォーム助成を提案。12、13年度の2年間で765件、4500万円の助成が行われ、工事総額で8億円を上回る波及効果がありました。

提案 依然として不況が続く下、助成制度を復活させます。



2015年度予算要望で末松市長と懇談しました

希望者みんなが行ける保育所・学童保育に

保育の制度が変わって不安がいっぱいです。親が安心して働き続けられ、子どもたちがのびのび過ごせる保育所、学童保育を、市が責任をもつ体制をつくりたい。

市民の声を通る市議会に

党市議団は、市民団体から議会に出された各請願の採択に尽力しましたが、十分な議論もないままに「不採択」となっています。市議団の力を強めて、もっと市民の声を通る議会にするために頑張ります。



使用禁止のままのトイレ（神戸小体育館）

「不採択」となった市民団体の請願

2013.6	消費税の増税中止を求める請願	賛成3
2013.6	TPP参加に反対する請願	賛成3
2014.12	集団的自衛権行使に反対する請願	賛成13
2014.12	特定秘密保護法施行延期を求める請願	賛成10

市民の暮らし支えるために使える財源はある

	2010年	2011年	2012年	2013年
市税収入 A	290億円	284億円	281億円	283億円
地方交付税 B	38億円	44億円	44億円	46億円
一般財源 A+B	328億円	328億円	325億円	329億円
財政調整基金 A	41億円	56億円	81億円	85億円
減債基金 B	43億円	43億円	44億円	44億円
基金残高 A+B	84億円	99億円	125億円	129億円

特権的な市長退職金、15%引き下げる

市長などの特別職に、1期4年ごとに支給される退職金は「特権的」と批判、一般職並みにすることを求めました。13年、末松市長は退職金15%引き下げを表明、支給額で1904万円から1618万円となります。

土地開発公社の遊休地解消すすむ

バブル期に土地開発公社が買いあさり、利用もされずに20年も保有している土地の処理を提案。市は経営健全化検討委員会を設置、3年間で8・7ha、35億円分を売却、借入金を45億円減らしました。老朽保育所の移転用地もできました。



老朽保育園移転候補地となる土地（西条8丁目）

Cバスを改善し市民みんなの足に

Cバスが走り出して15年、西部・南部路線は定着しています。これを鈴鹿市の各地の実情に合わせて改善し、市内全域に広げ、高齢者をはじめとする交通弱者、みんなが「市民の足」として利用できるようにします。

市民生活第一に財源まわせ

長引く不況と国の地方切り捨てのもとで、この自治体の財政も大変ですが、そんな中でも鈴鹿市は努力して、一定の税収を確保し、基金（貯金）を増やしています。

この財源を、市民の暮らしが大変な今こそ、いちばん支援が必要なお子育に優先して充てるべきです。待ったのきかない子育て、医療、介護、教育などに光を当て、くらし第一の市政にするために日本共産党は頑張ります。

